

福永雅文著「黒田官兵衛に学ぶ経営戦略の奥義 “戦わずして勝つ!”」日刊工業新聞社 2013 年 11 月 25 日刊を読む

1. 官兵衛は晩年、如水と名乗ります。旧約聖書のヨシュア(ジョシュアともいう。ユダヤの指導者)からとったともいわれますが、素直に、水の如く生きるという意味でしょう。

(1) 上 善 如 水(水の如く生きるのが理想的な生き方である)

(2) 水は方円の器に随う(人はまわりの環境によって良くも悪くもなる)

(3) 身は褒貶毀誉の間に在りといえども、心は水の如く清し(この身はほめたり、けなしたり、の俗世間に置いているが、心は水のごとく清らかである)

などなど、柔軟さ、謙虚さ、秘めたる力、清らかさなど、水に学ぶ故事は数多くあります。

2. 「水五訓」というものがあります。これは後世の人が考案したものといわれますが、水の如く生きた官兵衛を理解する一助となろうかと思えます。

一つ、自ら活動して他を動かしむるは水なり。

一つ、障害にあい激しくその勢力を百倍し得るは水なり。

一つ、常に己の進路を求めて止まざるは水なり。

一つ、自ら潔うして他の汚れを洗い清濁併せ容るるは水なり。

一つ、洋々として大洋を充たし発しては蒸気となり雲となり
雨となり雪と変じ霰と化し凝っては玲瓏たる鏡となり
たえるも其性を失わざるは水なり。

3. 家康が征夷大將軍に就任し、権威の上でも秀頼を上回り、名実ともに天下人となった翌年、慶長 9 年(1604 年)、官兵衛は京都・伏見の藩邸で病没します。享年 59 歳。その翌年、家康は秀忠に將軍職を譲ります。天下は持ち回りではなく、徳川家が世襲する旨を明らかにします。それから 10 年後、徳川家に臣従することをよしとしない豊臣家は攻め滅ぼされます。これにて戦国の世は完全に終結しました。幕末の動乱まで 250 年間、「平和で豊かな」世が続くことになります。

P136~137

[コメント]

ランチェスター戦略の第一人者であるコンサルタントの福永雅文先生による本書。黒田官兵衛論から学ぶことは計り知れない。高校の山川版日本史の教科書や参考書を横に置いて絶えず参照しながら読むと、戦国時代が鮮やかに浮かび上がってくる。

— 2014 年 9 月 29 日 林 明夫記 —